

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	母性援助論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	勝部愛子他	実務経験と その関連資格	総合病院の産婦人科に助産師として勤務、受胎調節実地指導員 不妊症看護認定看護師			
《授業科目における学習内容》						
妊娠、分娩期の正常な経過を学び、母子に対する看護を理解する						
《成績評価の方法と基準》						
授業態度、演習態度、レポート課題(30%)、GW・ロールプレイの参加状況および発表態度(10%)筆記試験(60%)で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院 母性看護学 マタニティサイクル 南江堂 看護実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メヂカルフレンド社 母性看護技術アドバンス 平澤美恵子、村上睦子 株式会社インターメディカ						
《授業外における学習方法》						
事前学習とレポート課題						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	妊娠の生理と産科診察について理解し説明できる。	産科診察器具 DVD		妊娠について学習しておく
		各コマにおける授業予定	妊娠とは、妊娠の診断、産科診察			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	胎児の発育について理解し説明できる。	妊娠各期の子宮模型、胎児模型 胎児および付属物資料		事前に胎児の発育について読んでおく
		各コマにおける授業予定	胎児の発育			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	妊娠期における母体の生理的变化と正常な経過を理解し、説明できる。	妊娠初期および妊娠中の過ごし方 DVD 妊婦フィジカルアセスメント資料		妊婦健康診査について学習しておく
		各コマにおける授業予定	妊娠期の看護-妊婦健康診査			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	妊娠期における特徴と正常な経過を理解し、妊娠が健全に継続できるための看護を理解し、説明できる。	妊娠中の日常生活アセスメントDVD 系統別アセスメント資料 妊婦・新生児の衣類		事前に妊娠期の看護について読んでおく グループ編成
		各コマにおける授業予定	妊娠期の看護-日常生活に関するアセスメント、妊婦健康診査。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	妊婦の健康管理と保健相談について理解し説明できる。	PC		グループのまとめ資料を作成する
		各コマにおける授業予定	妊婦と家族の健康管理と保健相談についてグループワーク			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	妊婦の健康管理と保健相談について理解し説明できる。	グループワークのまとめ資料	司会進行など役割分担発表準備
		各コマにおける授業予定	妊婦と家族の健康管理と保健相談		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	分娩期における特徴と正常な経過を理解し、分娩期の看護を理解し説明できる。	出産のときDVD 分娩期看護資料	分娩前教育について学習しておく
		各コマにおける授業予定	分娩前教育		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	分娩期における特徴と清浄な経過を理解し、分娩期の看護を理解し説明できる。	新生児モデル 骨盤模型 胎児の回旋DVD 分娩期看護資料	事前に分娩の要素について読んでおく。
		各コマにおける授業予定	分娩の要素と経過		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	周産期を取り巻く環境と産婦と家族に対する看護について理解し、説明できる。	分娩期看護資料	演習の事前課題配布
		各コマにおける授業予定	産婦の家族の看護		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	母性看護技術の方法と実際を理解し説明できる。	分娩監視装置模型 判読資料 装着方法とモニタ例資料	分娩監視装置について学習しておく
		各コマにおける授業予定	分娩監視装置の装着方法および判読		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	母性看護技術の方法と実際を理解し説明できる。	授業用DVD	グループ編成
		各コマにおける授業予定	分娩期看護のロールプレイ(場面設定)の説明とグループワーク		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	母性看護技術の方法と実際を理解し説明できる。	妊婦モデル 骨盤・胎児モデル 分娩監視装置模型	発表のための予行練習を行う。
		各コマにおける授業予定	分娩期看護のロールプレイ(援助方法)のグループワーク		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	母性看護技術の方法と実際を理解し説明できる。	妊婦モデル 骨盤・胎児モデル 分娩監視装置模型	教室準備 備品の片付け
		各コマにおける授業予定	相手との相互理解や人間的存在・価値を考え人としての成長を言語化でき。分娩期看護のロールプレイの発表		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	分娩期の特徴と正常な経過を理解し分娩期の看護を理解し、説明できる。	乳房モデル 新生児モデル 胎盤計測用具	事前に乳汁分泌のしくみについて読んでおく。
		各コマにおける授業予定	乳汁分泌のしくみ、母性看護技術(計測、触診法)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	母性看護技術の方法と実際を理解し説明できる。	妊婦モデル レオポルド胎児触診法モデル 胎盤モデル 演習課題記録	グループ編成、教室準備備品の片付け
		各コマにおける授業予定	子宮底および腹囲測定、レオポルド胎児触診法、胎盤計測		